

「ハッピー^{リュウ}龍イヤー！～絵画・工芸の龍を楽しむ～」
2024年1月2日(火)～2月3日(土)

想像上の動物である「龍」は、古代中国で誕生しました。天に昇り、雨を降らせるなど様々な力をもつとされ、強さや権力を象徴する龍は、吉祥図様として、東アジアの絵画をはじめ、数多くの工芸品に取り上げられています。

中国の「五行思想」※とも結びついた龍は、四神の中で東方を護る青龍となり、西方の白虎と“玉環”を取り合う図像も多く認められます。これは陽(東方)と陰(西方)のバランスが取れていることを示し、それにちなむ「龍虎図」が良く知られています。鳳凰と組み合わせて皇帝と皇后を象徴した「龍鳳図」、雲を従わせ天空を飛翔する「雲龍図」、波間に姿を現す「龍濤図」など、龍は多彩な姿で表され、人々に親しまれてきました。本展では、重要文化財の橋本雅邦《龍虎図屏風》(1895年)をはじめ、龍をモチーフとする作品を幅広いジャンルから集めました。これまで公開される機会が少なかった作品も、ここぞとばかりに登場いたします。

古来人々がその霊力、吉祥を呼ぶ力に願いを込めた「龍」の絵画・工芸品を、2024年・辰年正月の「静嘉堂@丸の内」にて、どうぞお楽しみ下さい！

※古代中国の自然哲学の思想。万物は木・火・土・金・水の五つの元素から成り立ち、それが互いに影響を与えながら天地万物が変化、循環するという考え。

【開催概要】

- 会 期：2024年1月2日(火)～2月3日(土)
- 会 場：静嘉堂@丸の内(明治生命館 1階)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1 明治生命館 1階
- 休 館 日：毎週月曜日(ただし1月8日(月・祝)、1月29日(月)は開館、1月9日(火)休館)
※1月29日(月)はトークフリーデーとして特別開館いたします。
- 開館時間：午前10時～午後5時(金曜は午後6時まで)※入館は閉館の30分前まで
- 入 館 料：一般1,500円 大高生1,000円 中学生以下無料
障がい者手帳をお持ちの方700円(同伴者1名無料)
- ★「辰年生まれ」の方、姓名に「龍・竜・辰・タツ・リュウ」がついている方は、同伴者も含め、本展の入館料を200円割引いたします。
※他の割引との併用不可。※ご入館の際、証明になるものをご提示ください。
- 問い合わせ：TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)
- ホームページ：<https://www.seikado.or.jp>
- X(旧 twitter)：@seikadomuseum
- 主 催：静嘉堂文庫美術館(公益財団法人 静嘉堂)



<本展3つのみどころ>

- ① とにかく、静嘉堂の“龍”オールスター・キャスト！
- ② 迫力満点! 橋本雅邦《龍虎図屏風》(重要文化財)と鈴木松年《群仙図屏風》の屏風対決！
- ③ 絵画・染織・漆芸・金工・陶磁 -多彩なジャンルから“初出品”が続出！

① とにかく、静嘉堂の“龍”オールスター・キャスト！

「龍」のイメージの成立ちとその姿を、美術品や、静嘉堂文庫の古典籍の中に見てゆきましょう。
第二代静嘉堂文庫長・諸橋轍次が編纂した『大漢和辞典』に見る龍の説明などから、干支の中の辰年の性格など、龍古来の伝承・イメージを織り交ぜて紹介いたします。主文様に龍文を描く清朝・乾隆銘の大盤や、宣徳銘の堆朱盒など、高麗・李朝の龍など見事な工芸品の数々をお楽しみください。

一方、なかなか見つけられない龍もあります。金属器(茶釜)・漆器・陶磁器の端の文様などに表された、ほとんど見えない線彫りや鑄造された龍文、文様が雑で、崩れてほとんど蛇のようになった龍文、螭龍文。染織からは「名物裂(めいぶつぎれ)」の細かすぎて見えない龍文、青磁や染付瓶の耳にくっついた龍にもご注目ください。



◇ 広報画像 1 《青花黄釉雲龍文盤》「大清乾隆年製」銘
清・乾隆年間（1736～95）



◇ 広報画像 2 《青花龍文大壺》「大明嘉靖年製」銘
明・嘉靖年間（1522～66）
★超大型の壺。



◇ 広報画像 3 《色絵団龍文陶板》有田窯
江戸・元禄年間（1688～1704）



◇ 広報画像 4-1



◇ 広報画像 4-2

《雲龍堆朱盒》「大明嘉靖年製」銘
明・宣徳年間（1426～36）



◇ 広報画像 5 三代目歌川豊国（国貞）・歌川広重画《長崎 円やま》（部分）
江戸時代・文久元年（1861）★花魁の着物の柄が龍です！



◇ 広報画像 6

記内《龍図透かし鐺》
「越前住記内作」
江戸時代（18～19世紀）

② 迫力満点! 橋本雅邦「龍虎図屏風」(重文)と 鈴木松年「群仙図屏風」の屏風対決!

工芸の名品ではありません。龍を描いた日本の絵画から、今回の趣向は屏風名作対決です!
重要文化財である橋本雅邦「龍虎図屏風」と、鈴木松年「群仙図屏風」。ともに「東の雅邦」「西の松年」
として第4回内国勸業博覧会に出品され、受賞は逃したものの後年、評価が高まった作品です。



◇ 広報画像 7-1 重要文化財 橋本雅邦《龍虎図屏風》明治 28 年 (1895)



◇ 広報画像 7-2



◇ 広報画像 8-1
鈴木松年《群仙図屏風》
明治 28 年 (1895)

◇ 広報画像 8-2



← ★この図の右上、疾走する龍の背に乗るのは「太真王夫人」、西王母の娘です。

③ 絵画・染織・漆芸・金工・陶磁-多彩なジャンルから“初出品”が続出!

龍のモチーフであればと、これまでの展覧会にはなかなか出る機会の無かった作品も、少なからず、お初のお目見えです。以下の初出品作品のほか、まだ見つかるかも…?



◇ 広報画像 9
《五彩龍文尊式花瓶》
「大明万曆年製」銘
明時代・万暦年間
(1573-1619)

★高さ 77 cm!
大型です。



↓ 部分拡大図

◇ 広報画像 10-1 ↑ ◇ 広報画像 10-2
とばり
《紺地龍寿山福海模様刺繍 帳》清時代 (19 世紀)

★清朝皇帝の袍(官服)を改変し、煎茶席に使う「帳」に作り替えたか。見事な刺繍。

【新年の**寿ぎ**を、龍文の茶道具で！】

国宝「曜変天目(稲葉天目)」の出品のほか、`堆黒螭龍文稜花盆、をもつ利休物相(茶入、数々の雲龍釜もご覧いただきながら、新年を祝うぜいたくな茶席の気分を味わってみてはいかがでしょうか。“お初釜”へのお出かけ気分(よりは、リラックス・モード)で、ぜひお立ち寄りください。



◇ 広報画像 1 1

国宝
《曜変天目(稲葉天目)》
南宋時代
(12~13 世紀)



◇ 広報画像 1 2-1 重要美術品 《唐物茄子茶入 利休物相》
南宋~元時代 (13~14 世紀)

◇ 広報画像 1 2-2 (上記付属) 《堆黒螭龍文稜花盆》
南宋時代 (12~13 世紀)

★可愛い螭龍(ちりょう)一対を彫った盆。この盆を探し出して
「利休物相」と組ませたのは茶人・小堀遠州です。



◇ 広報画像 1 3

西村九兵衛《雲龍釜(銀付松笠)》 江戸時代 (17~18 世紀)

<関連イベント>

◆ 鼎談 「辰年なのに… 卯年快談！」

ゲストに老舗古美術商、株式会社繭山龍泉堂の川島公之氏(代表取締役)と、世界を代表するオークションハウス、クリスティーズ・ジャパンの山口桂氏(代表取締役社長)をお迎えし、担当学芸員の長谷川祥子も加わっての”異業種で飛び跳ねている(!?)卯年生まれ”の鼎談です。古美術品をめぐる世界の動向、価格のこと(!)、それぞれの仕事の魅力や苦勞まで、大いに語ります。

[日時] 2024 年 1 月20日(土)14 時~

[会場] 明治安田ヴィレτζ 明治安田ホール丸の内(明治安田生命ビル低層棟4F)

※ 参加方法ほか詳細は当館ホームページでお知らせいたします。

◆ トーク フリーデー

普段ご遠慮いただいている展示室内での会話が自由にできる日として、1 月 29 日(月)を特別開館いたします。作品を御覧になりながら、ご友人、ご家族とご自由にお話してください。

館内で、学芸員による列品解説を 11:00~/ 14:00~の 2 回(各回約 40 分)行います。

【報道に関するお問い合わせは】

◆ 静嘉堂文庫美術館 広報事務局(共同 PR 内 担当:三井)

※在宅勤務も増えているため、メールでいただけると助かります。

E-mail:seikado-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

◆ 静嘉堂文庫美術館 E-mail:press@seikado.or.jp(広報担当:大森)

E-mail:seikado-pr@kyodo-pr.co.jp
静嘉堂文庫美術館 広報事務局行(共同PR内 担当:三井)

「ハッピー龍イヤー！～絵画・工芸の龍を楽しむ～」2024年1月2日(火)～2月3日(土)
静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)
【広報作品画像データ申請書】

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。本展の会期中であっても別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。ご使用可能期間は本展会期終了までとなります。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、本展終了後、データは速やかに破棄・削除してください。必要事項をご記入の上、E-mailでお申し込みください。E-mailでの送付が難しい場合、FAXでお申し込みください(FAX:0120-653-545)

＜画像使用全般に關しての注意＞

- 展覧会名、会期、会場名などの開催概要のほか、**指定表記、作家名、作品名、制作年**を必ず掲載してください。**所蔵元はまとめて1か所ご記載ください。**
- 作品画像は全図で使用してください。原則として文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません(画像背景を削除するなどは可能です)。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。
- 概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展広報事務局へ1部ご送付願います。

希望	NO.	指定表記・作品名/画像資料名・産地(窯)	制作年/制作年代	所蔵元/画像提供元
	1	《青花黄釉雲龍文盤》「大清乾隆年製」銘	清・乾隆年間(1736～95)	静嘉堂文庫美術館蔵
	2	《青花龍文大壺》「大明嘉靖年製」銘	明・嘉靖年間(1522～66)	静嘉堂文庫美術館蔵
	3	《色絵団龍文陶板》有田窯	江戸・元禄年間(1688～1704)	静嘉堂文庫美術館蔵
	4	《雲龍堆朱盒》「大明嘉靖年製」銘	明・宣徳年間(1426～36)	静嘉堂文庫美術館蔵
	5	三代目歌川豊国(国貞)・歌川広重画《長崎 円やま》(部分)	江戸時代・文久元年(1861)	静嘉堂文庫美術館蔵
	6	記内《龍図透かし鐔》「越前住記内作」	江戸時代(18～19世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	7	重要文化財 橋本雅邦《龍虎図屏風》	明治28年(1895)	静嘉堂文庫美術館蔵
	8	鈴木松年《群仙図屏風》	明治28年(1895)	静嘉堂文庫美術館蔵
	9	《五彩龍文尊式花瓶》「大明万暦年製」銘	明時代・万暦年間(1573～1619)	静嘉堂文庫美術館蔵
	10	《紺地龍寿山福海模様刺繍 帳》	清時代(19世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	11	国宝 《曜変天目(稲葉天目)》 建窯	南宋時代(12～13世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	12-①	重要美術品《唐物茄子茶入 利休物相》	南宋～元時代(13～14世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	12-②	上記付属 《堆黒螭龍文稜花盆》	南宋時代(12～13世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	13	西村九兵衛《雲龍釜(鍔付松笠)》	江戸時代(17～18世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	14	ポスタービジュアル		

ご住所	〒		
社名/媒体名	社名	媒体名	
ご所属/ご担当者名	ご所属	ご担当者名	
TEL/FAX	TEL	FAX	
E-mail			
掲載号／ 発売予定日	月号(月 日号) / 月 日発売予定 (発行部数 部) ☐ WEBへの転載あり		
チケット プレゼント	☐ 読者プレゼントを希望する ※プレゼント内容・数量に関しては別途ご相談となります。 応募、当選者選定、発送は貴社でお願いできればと思います。編集部で対応できない場合は広報事務局までお問い合わせください。		
チケット 送付先	※上記ご住所と異なる場合は記載をお願いします。		